



かみ
上寺朗じろう
と
あかね
茜あかねの
やよい
弥生やよい
トリップ

私は茜^{あかね}考古学を勉強中の
大学一年生です

ずっと楽しみにしていた
青谷^{あおや}かみじち史跡公園^{しせきこうえん}に
来ています

えっ
すごい
かわいい！

ガイドンス^{とく}棟

1800年前の
ものだなんて
信じられない！

ていうか
これ本物！？

たぎる！

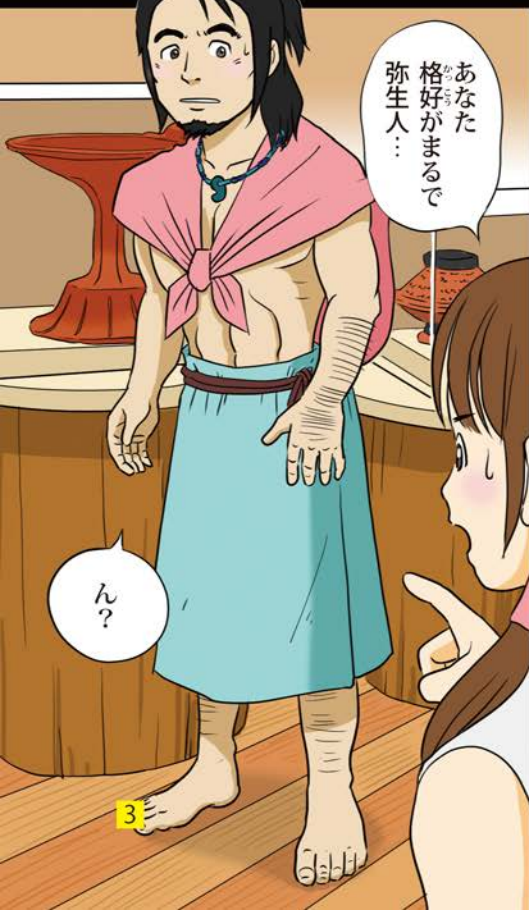
パニャ

たぎる！

ん？

アフビオコシ^{あふびおこし}令器^{れいき}

パニャ





いや〜
助かった〜!
でも なんて
錆びてるのかな?

?

もしかして
この人弥生人…!?
タイムスリップ
してきたとか…!?



僕のムラで作る木の器は
人気があって 北東にある
遠くの村に届けようと
船で旅立たんだけども…
途中で風あらしに巻きこまれて
気が付いたらここにいたんだ!



これで
もどれるぞ
早く乗れ!

まじか!?

③イベント時のみ乗ることができます。



えええええ
船も無事だ!
ラッキー!

いやいや
そんな
ことは…



もどれるぞお
!!

まじかあ
!?

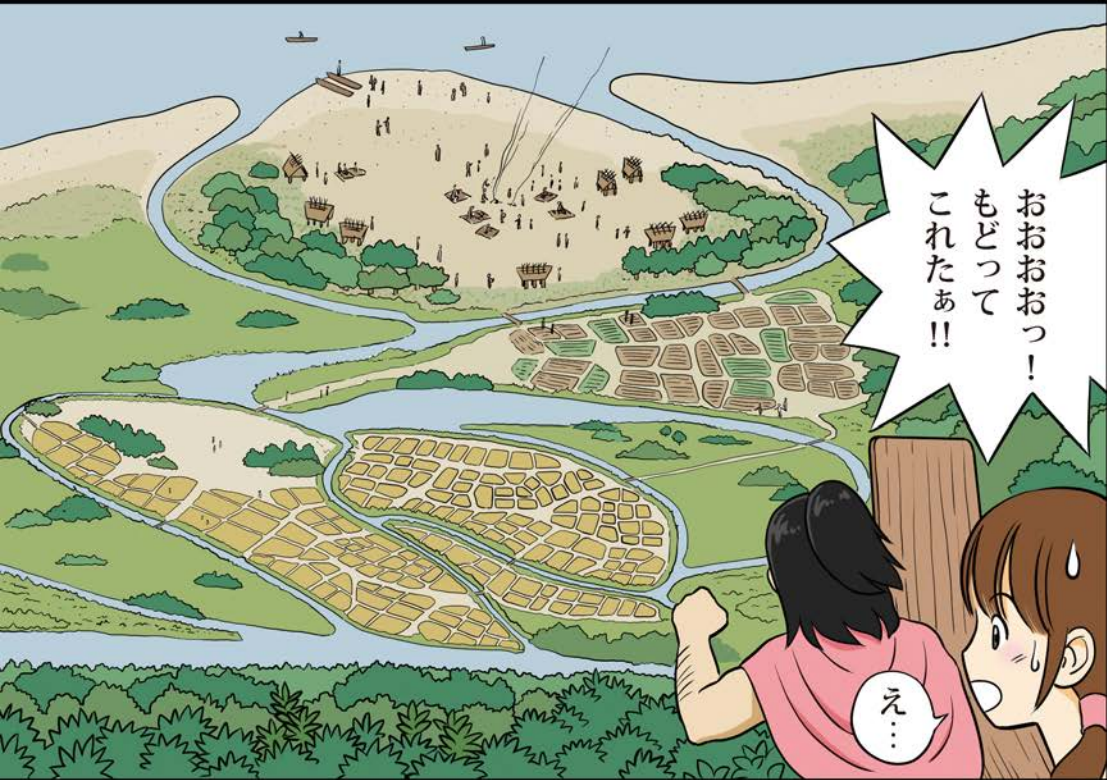


おおっ

ここは…



うーん…



おおおおっ！
もどって
これたあ！！



え…



あれ、
上寺朗？

なんで
おるだあ？



おおっ！



え
待って…

おととい旅に出たらあ？

あゝなんて言うか…

そちらの人は？

そういやあ自己紹介がまだだったね

僕は青谷上寺朗！よろしく！



私は茜 よ…よろしく…

上寺朗ってもしかして復顔像の…？

まさかね…

でもここってどう考えても…



弥生時代…？

せっかくだから僕の自慢の村を案内するよ！

上寺朗、お前と入れかわりて今西から船が戻ってきたところだ



おおっ茜さん 見に行こう！





すごいピカピカ!
これどこかで
もらってきたの?



こっちは
ものづくりの
工房だよ



この村には
良い道具が
集まってくるし
職人の中でもピカイチ！
『青谷ブランド』
として喜んで
もらえるのさ！

えーっ
これ
全部
手作り!?

すご

当たり前
だがな！

職人
さん
木工



何だあの
道具は...?

パニヤ
パニヤ
パニヤ

まじか
弥生の青谷
すごすぎん？

あ
勾玉！



本物だ
これは...
ヒスイ？

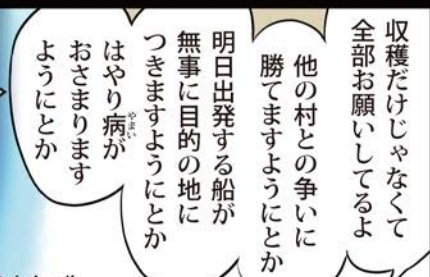
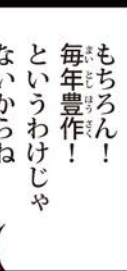
北東

ご名答！
そのきれいな石は
ここからずーっと
北東にある村から
もらったんだよ！

西に東に...
弥生人って
行動力
すごいな...

今日は
田んぼで
稲の収穫
してるぞ

見
行きたい！





そうだったのか
僕の肩にかけた布は
この花の根っこで
染めてるよ

へえ、
きれいな
色!

弥生時代って
すっこく工夫して
暮らしてるんだな...



どうしたの？

あ



これ
茜だよ！
私と同じ
名前なの



女のほうは
うちの村の
子だけど
男のほうは
よそから来いて
そろそろ帰らなきゃ
ならないんだけどなかなか
離れられないみたいでねえ

ほう
ほう
ほう...



知って
るの？

あ
あの
二人か



今度は村の
中心に行こう！



どうしたの？

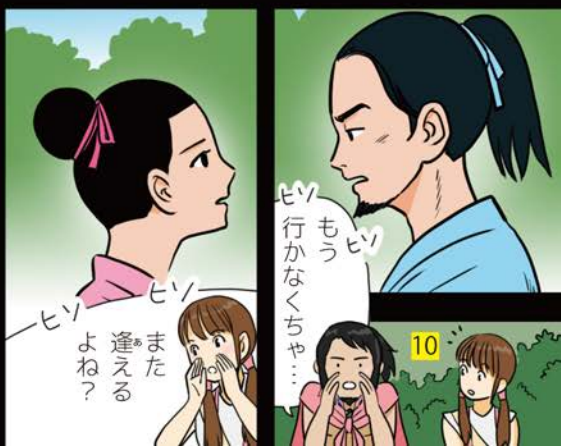
しっ



ひしっ

う
れ
し
い...!

逢えるさ！
村長に許可を
もらったら
ここで一緒に
暮らそう



もう
行かなくちゃ...

また
逢える
よね？

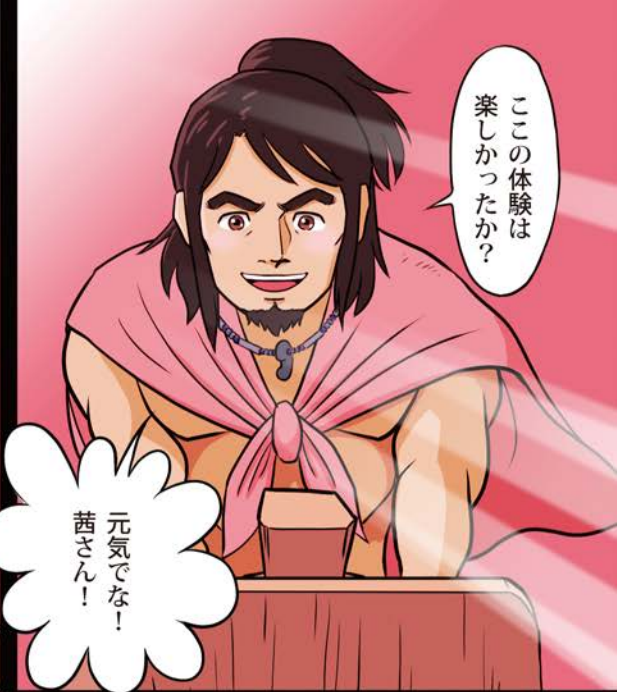




上寺朗さ——ん！



上寺朗さんっ



ここの体験は
楽しかったか？

元気だな！
茜さん！



そうだ
写真！



え……
もどつてきた？



かみじろうさつ……



まじか……

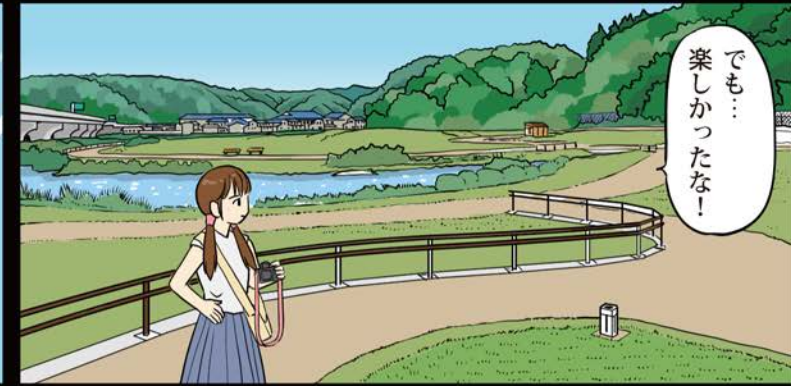
お客様 熱心に
見学されていたから
つかれてねむっちゃったん
ですよ



史跡公園の職員



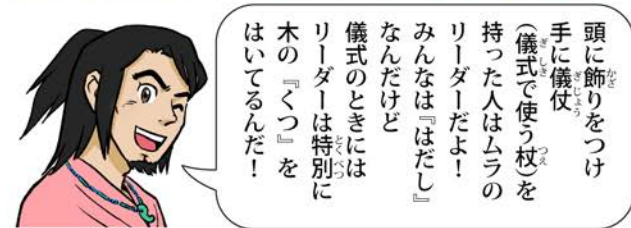
えっ
何も写って
ない……？



弥生時代の服装

【男性】横幅衣
横幅のある布を肩にかけ、腰布を巻いています

【女性】貫頭衣
ワンピースのような服です



頭に飾りをつけ
手に儀仗

(儀式で使う杖)を
持った人はムラの
リーダーだよ！
みんなは『はだし』
なんだけど
儀式のときには
リーダーは特別に
木の『くつ』を
はいてるんだ！

暮らしのパートナー『イヌ』

日本列島での人びととイヌとの暮らしは縄文時代までさかのぼります。弥生時代の青谷上寺地遺跡からもたくさんイヌの骨が発見されています。狩猟のパートナーとして活躍していた犬もいたようです。一方、解体され食料になったとみられる犬の骨も出土しています。また、大きさは柴犬くらいで、毛は灰色で耳がピンと立ち、尾がすっと立ち上がった個体がいたと推測されています。

なお、ネコは弥生時代の日本にいたのでしょうか。イエネコと推定される骨が長崎県壱岐市の遺跡で出土していますが、ネコ派のみなさんには残念ながら、弥生時代にはまだ珍しい動物だったようです。

イネの収穫

同じ田んぼでも稲の成長スピードが違うため、実った稲穂から穂の部分だけを摘み取って収穫していました。



上寺朗！



とってつ 把手が付いた木の器

青谷上寺地遺跡から出土した木の器は、びっくりするほど美しく、高い技術で作られています。大きな斧で切り倒した木を小さく割って、小さな斧で形を整え、先の細い刃物で仕上げを行いました。

木工のプロ集団！



こがた おの 小型の斧



さいぶ かこう どうく 細部を加工する道具

弥生時代では、価値の高い品は物々交換で手に入れていました。

例えば、勾玉の材料となるヒスイ（新潟県糸魚川市付近から採れた石）や管玉の材料となる碧玉（石川県小松市周辺で採れた石）は、現地で採取されたものを青谷の人々が物々交換で手に入れたと考えられます。

青谷からの交換品は？もちろん美しい木の器や貴重な鉄の道具だったに違いありません。

『ヒスイ』『碧玉』 弥生の宝石



まがたま ヒスイの勾玉



遠距離恋愛？

青谷上寺地遺跡から出土した人の骨をDNA分析した結果、都会のように、いろんな地域から人がやってきたことがわかりました。青谷の里は交易で栄えたムラなので、遠いところからやってきた人どうしのいろんな出会いがあったことでしょう。もしかしたら遠距離恋愛をした恋人がいたかもしれませんね。



まつりや占いが大好き！

天気予報もコンピュータもない弥生時代の人々は、まつりで祈り、占いで物事を決めることが多かったです。

ムラのみんなで大事な決め事をするときは『骨卜』という占いをしました。

青谷上寺地遺跡はこの骨卜に使う、シカヤイノシシの骨を焼いた『卜骨』の出土数が日本一！



上寺朗と茜の弥生トリップ

2024年3月24日 初版発行

編集・発行／

青谷かみじち史跡公園

〒689-0534 鳥取県鳥取市青谷町吉川 17

電話／0857-32-8415

ファックス／0857-30-5020

まんが制作／株式会社ラ・コミック



ホームページ